



扉【とびら】

宇部市立藤山中学校
6 月 号
2020. 6. 26 発行

『もっている』君たちなら大丈夫！

校長 海 頭 巖

「3年生の聞く姿勢はたいへん素晴らしいですね。」「いやー、本校の高校生たちに見せてあげたいですよ。」「熱い視線で聞かれるので、こちらも真剣そのものでした。」これらは6月11日（木）から3日間にわたって行われた進路説明会で、説明を終えられた各高校の先生方から頂いた3年生への賛辞です。どの先生からもお褒めの言葉を頂けるので、思わず鼻高々な気分を味わわせてもらいました。「ありがとう3年生」。コロナの影響で『時間短縮』と『密』を避けるために、3日間で学校種別など工夫をしての開催となりました。また保護者の方々にも、会場への入場前検温や、中には2日間・3日間にわたって参加して頂くなどの協力もあって、無事に進路説明会を終えることができました。保護者の皆様にも感謝申し上げます。「ありがとうございました。」この進路説明会は、進路選択・決定のための情報収集の一つとして大切な場であり、進路について親子で共に考える絶好のチャンスでもあったのです。説明会后には、きっと親子でしっかりと話し合われたことと思います。さて、3日間の説明会の冒頭に私があいさつをさせて頂きました。ここに簡単に紹介しておきます。

初日：『今まで会ったことのない自分に会って見ないか?!』

各教科5点上がれば、これまで見たこと、味わったことのない世界が待っているのです。受験は団体戦。グループがチームに変わると信じられない力を発揮するのです。

2日目：『決定した瞬間に私たちの運命は形作られる』

今日は何があっても楽しむと決めたとしよう。決めたら必ずそうなります。意識が決まると現実が動き出すのです。

3日目：『自分が見たい世界、自分が幸せに感じる世界を想像しよう』

ラグビー選手の福岡堅樹さんがオリンピック出場をやめて、医者になるための勉強に頑張ることを公表された時のコメント「後悔しない人生でありたい」と言われたことを例に取り、『人生パーフェクトじゃあなくていい。マイベストをめざそう』。『幸せになれるストーリーを描こう!』

これからの進路選択や進路決定の参考にしてもらえるとありがたいです。

6月17日（水）生徒総会当日の天気は晴れ。全校生徒が直接集い合った会にしたいという生徒たちの思いが天に届いたのです。体育館での開催が難しいので、グラウンドでの開催。まるで古代ギリシアの時代を思わせるような光景でした。直接民主政治の原点である生徒総会が予定どおり開け、1年生から3年生までが直接意見を述べ合うことができ、また中身の濃い内容でした。特に第2号議案『人を思いやる心を持つために』の話し合いでは『聞き合うことの大切さ』を確認し合うことができました。私は生徒たちに『聞き合うには明るい話・楽しい話・嬉しい話から始めよう。楽しいこと・嬉しいことのお裾分けをしあおう。幸せのお裾分けで、喜びの輪をどんどん広げていこう。』ということを言わせてもらいました。二つの行事を通して感じたことは、藤山中の生徒たちは『もっている』ということ。これからも何かと制限された生活だけど、みんなで知恵をしぼって日常生活を取り戻していこう。「きっとできるはず」。